

小口 高 [Takashi Oguchi]

E-mail: oguchi@csis.u-tokyo.ac.jp / Tel: 04-7136-4301

Room: 空間情報科学研究センター

Personal website: http://ogu.csis.u-tokyo.ac.jp, http://oguchaylab.csis.u-tokyo.ac.jp/

研究分野 地形学、地理情報科学、水文学、環境科学

メッセージ 地理情報システム (GIS) は Google Earth やカーナビにも応用されている技術であり、多様な情報処理能力と分析機能を持っているため、自然や社会に関する研究で広く活用されています。 私は日本の GIS 研究の中心的な組織である、東京大学空間情報科学研究センターに所属しています。

研究内容の紹介

私の研究室では、主に GIS を用いた地球科学の研究を行っています。特に地形学(Geomorphology)の研究に重点を置いており、地形の形態や分布にみられる法則性と、地形の形成過程に関する検討を行っています。また、河川水質、考古環境、人口分布などの地理学一般に関する研究も進めています。研究対象地域は海外(英国、シリアなど)を含み、海外研究者との共同研究や交流も重視しています。

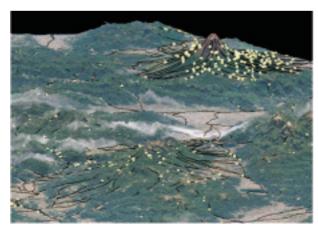
最近指導した修士論文・博士論文のテーマ

- ・日本の山地流域における河床遷急区間の分布と形成
- ・高解像度 DEM を用いた流域の縦・横断面形と水系構造の解析
- ・日本中部における河川水中の浮流物質濃度の時空間的多様性
- ・高解像度 DEM を用いた開析谷の非対称性の分析ー武蔵野 台地と大宮台地を例として一

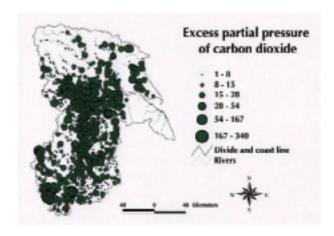
- ・地すべり土塊と滑落崖の地形特性―山地内および山地間での比較―
- ・GIS を用いた地すべり地形の傾斜特性解析
- ・火星の火山における標高・傾斜・水系密度の関係
- ・扇状地の末端における地形勾配の急変に関する定量的検討
- ・関東~中部日本における河川水質の空間分布とその規定要因
- ・大規模網状砂床河川の流路形状変化 GIS と RS によるバングラデシュ,ブラマプトラ川の研究

セミナー

・地理情報科学セミナー:研究紹介,論文紹介,および活発 な議論を主に英語で行っています



デジタル標高モデルから自動抽出した富士山・八ヶ岳周辺の河川遷 急区間(河床が相対的に急勾配の区間)



東部イングランドの河川水質データ解析(英国生態学・水文学研究 所との共同研究)